

## 国際社会医学講座/環境保健学

## 1. 領域構成教職員・在職期間

教授	平工 雄介	平成30年10月ー
准教授	佐藤 一博	平成 6年 1月ー平成 9年3月、平成11年5月ー
助教	金山 ひとみ	平成25年10月ー

## 2. 研究概要

## 研究概要

「環境保健学」とは、環境と健康との関連を解明し、疾病予防と健康増進を目指す研究分野である。環境とはヒトを取り巻くあらゆる要因を含み、化学的因子(環境・産業化学物質)、物理的因子(紫外線、放射線など)、生物学的因子(細菌、ウイルス、寄生虫など)などが含まれる。本研究分野では、一般環境や産業現場における化学物質による健康影響、特に発がん、呼吸器疾患、職業性アレルギー、次世代影響などに関する実験研究および疫学研究を行っている。また、気候療法・地形療法による心身機能への影響と健康増進に関するフィールド研究を行っている。

## キーワード

環境・産業化学物質、発がん、呼吸器疾患、アレルギー、次世代影響、気候療法

## 特色等

環境保健学分野では、広範な環境因子および疾病を研究対象とした基礎研究と臨床研究を行っている。また、地域のフィールドを利用した健康増進に関する研究もしている。環境医学および産業医学に関する研究では、国際共同研究を行っている。研究手法としては、生化学的・分子生物学的手法を駆使した実験研究および疫学研究を行っている。両者の手法を連携させた研究を行うことにより、地域や世界における社会医学的問題の解決に貢献する点が本研究分野の特色である。

## 本学の理念との関係

環境保健学分野における研究は、福井大学の理念のうち「人々が健やかに暮らせるための科学と技術に関する世界的水準での教育・研究を推進し、地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成と、独創的かつ地域の特色に鑑みたる医学研究」に合致している。

## 3. 研究実績

区分		編数	インパクトファクター(うち原著のみ)
		2019年分	2019年分
和文原著論文		0	—
英文論文	ファーストオーサー	0	0 (0)
	コリボンディングオーサー	0	0 (0)
	その他	3	6.886 (6.886)
	合計	3	6.886 (6.886)

## (A) 著書・論文等

## (1) 英文：著書等

## a. 著書

## b. 著書(分担執筆)

1926001

Hitomi Kanayama, Yukinori Kusaka, Hiroyuki Inoue, Gisela Immich, Yuko Agishi, Angela Schuh: TWO MONTHS CLIMATOTHERAPY PROGRAMME FOR PHYSICAL AND MENTAL HEALTH IMPROVEMENTS: A PILOT STUDY. Acta Balneologica 2019; 2(156): 112, Aluna Publishing, 112, 201906

## c. 編集・編集・監修

## (2) 英文：論文等

## a. 原著論文(審査有)

1926002

He F, Ma N, Midorikawa K, Hiraku Y, Oikawa S, Mo Y, Zhang Z, Takeuchi K, Murata M.: Anti-cancer mechanisms of taurine in human nasopharyngeal carcinoma cells., Adv Exp Med Biol, 1155, 533-541, 20190000, #2.126

1926003

Mizutani H, Hayashi Y, Hashimoto M, Imai M, Ichimaru Y, Kitamura Y, Ikemura K, Miyazawa D, Ohta K, Ikeda Y, Maeda T, Yoshikawa M, Hiraku Y, Kawanishi S.: Oxidative DNA damage and apoptosis induced by aclarubicin, an anthracycline: role of hydrogen peroxide and copper., Anticancer Res, 39, 3443-3451, 20190000, #1.935

1926004

Mori Y, Kato S, Fujisawa Y, Ohnishi S, Hiraku Y, Kawanishi S, Murata M, Oikawa S.: Mechanisms of DNA damage induced by morin, an inhibitor of amyloid beta-peptide aggregation., Free Radic Res, 53, 115-123, 20190000, #2.825

## b. 原著論文(審査無)

## c. 原著論文(総説)

## d. その他研究等実績(報告書を含む)

## e. 国際会議論文

1926005

Tomoyasu Uno, Duy Van Khuong, Yukinori Kusaka, Chung Le Quang, Taro Tamura, Yusuke Hiraku: An investigation on coal workers' pneumoconiosis in Vietnam surfaced coal miners., The 24th Congress of the Asian Pacific Society of Respiratory (APSR 2019), 20191114

1926006

Hitomi Kanayama, Yukinori Kusaka, Hiroyuki Inoue, Gisela Immich, Yuko Agishi, Angela Schuh: Two months climatotherapy programme for physical and mental health improvements: a pilot study, Acta Balneologica, 156(2), 112-112, 20190600

## (3) 和文：著書等

## a. 著書

## b. 著書(分担執筆)

1926007

佐藤 一博: 職業性アレルギー疾患の予防・管理: 大田 健: 職業性アレルギー疾患の予防・管理, 協和企画, 20190616, 978-4-87794-206-9

1926008

金山 ひとみ: 日本リハビリテーション医学会: 気候医学の健康増進とリハビリテーション医学への活用, 三輪書店, 904-907, 20191118, 978-4-89590-676-0

1926009

阿岸 祐幸, 金山 ひとみ: 第2章 自然資源の活用で健康づくり - 温泉・気候療法, 第9章 ドイツにおける温泉・気候療法: 森本 兼曇, 阿岸 祐幸: 温泉・森林浴と健康, 大修館書店, 15-32, 181-196, 20190914, 978-4-469-26873-7

1926010

金山 ひとみ: 気象学, 山岳気候と気候療法, 安全管理法と蘇生法, 気候療法の生理: 一般社団法人 健康保養地医学研究機構: 2019 気候療法士リーダー資格講習会, 一般社団法人 健康保養地医学研究機構, 30-62, 77-111, 201908

1926011

金山 ひとみ, 平井 一芳, 井上 博行, 佐藤 一博: 蒸しタオルを利用した簡便な温冷交互刺激と組み合わせた日本人のための気候療法プログラム, 日本健康開発財団, 74-89, 20191026

- c. 編集・編集・監修
- (4) 和文：論文等
- a. 原著論文（審査有）
- b. 原著論文（審査無）
- c. 総説
- 1926012 佐藤一博：ビッグデータと成り得る化粧品の皮膚感受性予測, *Cosmetic Stage*, 1-4, 20191025
- 1926013 佐藤一博：職場巡視の頻度, *産業医学ジャーナル*, 42(6), 72-73, 20191130
- d. その他研究等実績（報告書を含む）
- 1926014 小島 幸一, 足利 大可雄, 安達 玲子, 佐藤 一博, 武吉 正博, 福山 朋季: 皮膚感受性試験評価報告書: U Cell Line Activation Test (U-SENSTM), Alternative to Animal Testing and Experimentation-Japanese Center for the Validation of Alternative Methods (AATEX-JaCVAM), 31, 20191231
- e. 国際会議論文
- (B) 学会発表等
- (1) 国際学会
- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- 1926015 Hitomi Kanayama, Yukinori Kusaka, Hiroyuki Inoue, Gisela Immich, Yuko Agishi, Angela Schuh: Two months climatotherapy programme for physical and mental health improvements: a pilot study., 44 World Congress of International Society of Medical Hydrology (Wieliczka, Poland), *Clinical Balneology, Wieliczka (Poland)*, 20190614, 2019 World Congress of ISMH Program Kongresu, 17, 20190500
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- 1926016 Tomoyasu Uno, Duy Van Khuong, Yukinori Kusaka, Chung Le Quang, Taro Tamura, Yusuke Hiraku: An investigation on coal workers' pneumoconiosis in Vietnam surfaced coal miners., *The 24th Congress of the Asian Pacific Society of Respirioly (APSR 2019)*, 20191114
- f. その他
- (2) 国内学会（全国レベル）
- a. 招待・特別講演等
- 1926017 平工雄介: 環境因子によるマイクロRNAの発現変動: D0HaD研究への応用と展望, 第13回D0HaD疫学セミナー, 東京都千代田区, 20190629
- 1926018 平工雄介: 環境発がんにおける酸化・ニトロ化DNA損傷, 第51回藤田学園医学会シンポジウム, 豊明市, 20191004
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- 1926019 金山 ひとみ, 山本 智保子: 海岸での気候療法と温泉入浴による高齢者の野外活動時の気分状態について, 第84回 日本温泉気候物理医学会 総会・学術集会, 健康増進5, 岡山市, 20190519, 第84回 日本温泉気候物理医学会 総会・学術集会 プログラム・抄録集, 84, 201905
- 1926020 山本智保子, 金山 ひとみ: 高齢者の入浴習慣と野外活動時の温泉入浴による気分の変化について, 第84回 日本温泉気候物理医学会総会・学術集会, 温泉・水治療法1, 岡山市, 20190518, 第84回 日本温泉気候物理医学会総会・学術集会 プログラム・抄録集, 56, 201905
- 1926021 平工雄介, 村田真理子: インジウム化合物によるヒト肺上皮細胞におけるニトロ化DNA損傷, 第92回日本産業衛生学会, 名古屋市, 20190522
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- 1926022 Sharif Ahmed, 小林果, Tahmina Afroz, 馬寧, 及川伸二, 川西正祐, 村田真理子, 平工雄介: インジウム化合物に曝露した肺上皮細胞における炎症反応を介したニトロ化DNA損傷, 第90回日本衛生学会学術総会（誌上開催）, 盛岡市, 20200326
- f. その他
- (3) 国内学会（地方レベル）
- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- 1926023 金山 ひとみ: 平成30年2月の記録的な福井の大雪に関連した労働災害発生について（疑い例を含む）, 第62回 日本産業衛生学会北陸甲信越地方会総会（誌上開催）, 長野市, 20200308, 第62回 日本産業衛生学会北陸甲信越地方会総会 講演要旨集, 20, 20191001
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

## (4) その他の研究会・集会

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

1926024

金山ひとみ：冷刺激で鍛える - ドイツの気候療法・地形療法、心も体も元気になる温泉気候療法、永平寺町、20191014

## (C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

## (D) その他業績

## 4. グラント取得

## (A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	挑戦的研究（萌芽）	喫煙に起因する低体重出生のリスクを予測するマイクロRNAの探索と役割の解明	平工 雄介		2019	1950000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)	粒子状物質による健康影響におけるDAMPの役割の解明とリスク評価法の開発	平工 雄介		2019	5460000

## (B) 奨学寄附金

受入件数	5
受入金額	800000

## 5. その他の研究関連活動

## (A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

## (B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
-------	----	----

## (C) 座長

国内学会	学会名	氏名
------	-----	----

## (D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員	氏名
----------	------------	----

## (E) その他